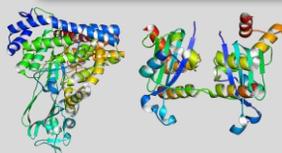




# 蛋白質研究所:高磁場NMR分光光学研究室

准教授：宮ノ入洋平

## 蛋白質の“かたち”をみる

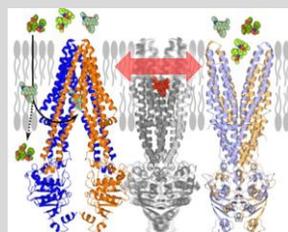


蛋白質の“かたち”が機能を生み出している。



蛋白質研のNMR、X線、電子顕微鏡で解析しよう。

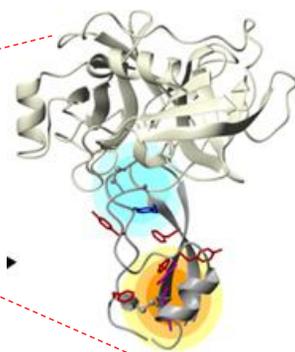
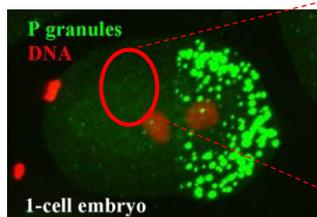
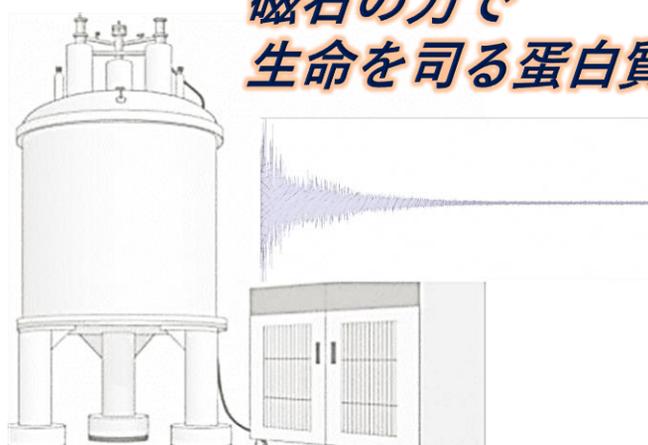
## 蛋白質の“動き”をみる



蛋白質の“動き”が機能のON/OFFを担う。

NMRを用いた動態解析新手法の開発を行っています。

## 磁石の力で生命を司る蛋白質の姿をみよう！

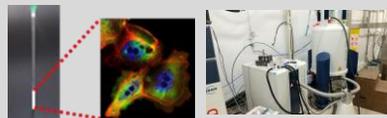


## 蛋白質が“働く場”でみる

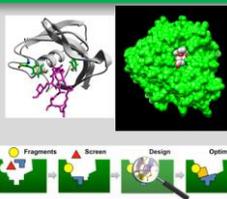


試験管と細胞内では環境が大きく異なる。

細胞内NMR測定新規安定同位体標識技術の開発を行っています。



## 蛋白質から“生命”をみる



蛋白質の構造動態や相互作用を基にした新薬や分子モーターの設計が可能となる。

べん毛モーター、抗体アミロイド蛋白質シグナル伝達因子等を対象に研究しています。



より詳しく知りたい方は、ホームページをご覧ください。

○ 蛋白質研究所

○ 高磁場NMR分光光学研究室

○ 次世代NMR WG

